

# THE WEEKLY NEWS OF FUTTSU-CHUO

イマジン ローターリー



クラブの未来を描き  
ロータリーを楽しもう

RI会長 ジェニファーE・ジョーンズ 2022～2023

富津中央RC会長 須藤 隆

国際ロータリー 第2790地区 富津中央ロータリークラブ 創立:1966/10/13 加盟承認:1966/12/12  
RI D2790 FUTTSU-CHUO ROTARY CLUB Organized : Oct./13/1966 Chartered : Dec./12/1966

## No.2687 第8回例会 2022.9.8 晴

点 鐘：須藤 隆 会長

進 行：朝月真次郎 SAA

ソング：奉仕の理想

### 会長挨拶

須藤 隆 会長



皆さんこんにちは。最初に先週開催された、会長・幹事会の報告をします。一つ目が来週から2回にわたって開催される木更津、上総、富津中央RCの合同例会の件です。通常例会終了後に、協議会が予定されています。その協議会では3つのクラブを2グループ(富津中央RCと木更津RC・上総RC)に分け、設定されたテーマについて話し合い、その結果を発表することにしております。協議会で話し合われるテーマは「元気なクラブ実現を目指して」です。当クラブは今年度の重点目標としてとして長期ビジョン策定を挙げていることから、討議の柱を「長期ビジョンの骨格について」と「私たちクラブの地域におけるミッション(役割)は」としました。協議会のまとめ、発表役としてビジョン策定委員会委員

長の榎本会員にお願いしたいと思います。

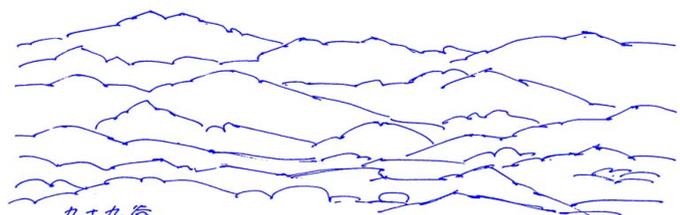
二つ目が、11月6日(日)に行われるアクアマラソンにおける第5グループの支援活動です。後程、幹事の相川さんから内容の説明と皆さんへの協力要請がありますのでよろしくお願いします。

さて、今日は、8月26日に亡くなられ、平成の経営の神様と言われていた稲盛和夫さんについてお話ししたいと思います。稲村さんは若干27歳で現在の京セラを創業し、今年年商2兆円に迫る世界的な企業にしたのをはじめ、1984年に当時通信業界では独占的な力を誇っていたNTTに対抗して、第二電電を設立、現在は通信業界の大手として君臨しているKDDIを育てました。さらに、2011年には会社更生法を申請した日本航空の経営を取締役会長を無給で引き受け、2年後にはV字回復させたのは皆さんもご存じかと思います。

稲盛さんは、自身の経営哲学を伝える盛和塾や著作を通じて国内外の経営者に影響を与え、年1回全国から中堅中小の経営者が集う世界大会を開催し、かつては、元サッカー日本代表監督の岡田さんや元横綱の白鵬、ソフトバンクの孫正義さんも参加して学んだと日経新聞が報じていました。稲盛さんの著書は、中国などでもベストセラーとなり、稲村さんの訃報に対し中国外交部が公式に哀悼の意を表明したと報じられていました。

また、科学技術の振興にも取り組み、私財を投じて京都賞を創設して、これまで世界各国からの100人以上が京都賞を受賞しています。この中には後

〒293-0043 富津市岩瀬 841-3  
いち川旅館  
Ichikawa ryokan  
841-3 Iwase Futtsu-shi Chiba-ken,  
293-0043  
Tel. 0439-65-0177 Fax. 0439-65-0178  
URL <http://www.futtsuchuo-rotary.org>



にノーベル賞を受賞した京都大学の山中伸弥教授や本庶<sup>たすく</sup>佑特任教授が含まれています。

稲盛さんの語録を2～3紹介します。「商いの極意は、お客様から信用されることだが、その上、お客様から尊敬される徳がなければならない。」「人生の結果または、仕事の成果は、考え方×熱意×能力の方程式で決まる」と言っています。この方程式の中で、人間ともすると有名大学を出て学問をすればするほど、能力に依存し、熱意や更に考え方(人間力)の重要性に対する認識が薄れ、そのせいか有名大学出身者の創業者で、成功した人は思いのほか、少ないと述べています。

最後に「ビジネスの世界は、思いやりと利他の心が大切である。」という語録はロータリーの理念である「超我の奉仕」に通ずるものがあることを紹介して終わります。

## 幹事報告

相川恵津子 幹事



皆さん、こんにちは  
先日第5グループの会長・幹事会がありました。  
ご報告いたします。

まず最初に、15日のクラブ協議会についてです。  
会場は東京ベイプラザホテル、例会は12時30分  
からです。会場までの配車は個々にお伝えします  
のでよろしくお願いします。

次に11月のアクアマラソン大会においてブルー  
ベリーの配布協力を頼まれました。各グループ7名  
ほどお手伝いをしてほしいとの事です。  
木更津グループは全員出席予定です。

11月6日(日)フルマラソンとハーフマラソンの2種  
類です。富津中央はフルマラソンのほうをお手伝い

いたします。大体8時から夕方までかかります。配  
布の方は昼ぐらいで終わるそうですが、交通規制が  
かかるため車が出せないそうです。はっきりとしたこ  
とは10月中旬に打合せがありますのでその時わか  
りますが、会長幹事2名のほかにお手伝いしてくれ  
る方を5名募集します。ご協力できる方は申し出て  
ください。

- 1, ロータリー文庫の決算報告書回覧。
- 2, 俳句コンテストの作品募集回覧。
- 3, 基本的教育と識字率向上月間リソースの案内。
- 4, 2022-2023年度RID2790、財団セミナー  
参加者案内ZOOM回覧。
- 5, 青森県大雨災害支援金について、全国ガバ  
ナー会より支援要請があり、小倉がバナーから案  
内が来ました。募金箱を回しますのでご協力よ  
ろしくお願いします。

## 富津中央 RC Heritage

### 「石渡鋼会員コレクション」

石渡 鋼 会員



## 卓話

### 「私にとってロータリーとは何か」

三枝一雄 会員



## □はじめに

皆さんこんにちわ。本日私にあたえられました卓話の内容はロータリーの研修だそうで、新しく入会した会員の為になる話をする事になりました。とはいえ、年だけはとつても、あまり深い考えはなく、皆さんに会えることと御飯が美味しいので毎週楽しみに来ているだけでした。とても志波さんのように、短くても肝要な話は出来ませんが、初心にかえてロータリーとはなんだろうかを私なりに考えてみたいと思います。

私は昭和43年に千葉大学の外科医局員(正式には千葉大学文部教官)を辞めて三枝病院を開設しました。そしてその8年後、昭和51年7月にジュピターコーポレーションの藤村義朗社長の紹介で入会しました。ロータリーについては全く何も知らずにただ藤村氏のお薦めにただ素直に「ハイ」と言っただけです。入会するとまず当クラブの初代会長の笠原文雄氏から「ロータリーは教わるものではない。体得するものだ」といわれました。入会してみると、何と地元こんな立派な人がいたのかと思うような先輩ばかりでびっくりしました。特に子供の頃からよく知っている志波会員がいつのまにか尊敬すべき先輩ロータリアンになっていて、これが一番の驚きで、改めてロータリーとはすごい所だと思いました。

## □ロータリーとは何か

一口で言えば「世界最初の奉仕クラブの組織である」という先日の卓話がありましたが、これは私も入会時に志波会員から教えられたことです。更に、ロータリーとは世界各地のロータリークラブが集まって構成されるもので、それが「国際ロータリー」と呼ばれ、すべてのロータリークラブはその会員であり、ロータリアンとは各ロータリークラブの会員個人のことです。このロータリアン一人一人が各地で職業を異にする善意の人として選ばれ、クラブを結成してさまざまな奉仕活動を行っているのです。行っているというより、行いを学ぶ、クラブの楽しい雰囲気の中から知らず知らずというか、先輩に倣って奉仕の心が育っていく、それが家庭・職場・社会に及ぼされていくのではないのでしょうか。それによ

て個人としては心がなごやかになり、家庭も職場も明るく、社会の信頼も大きくなる、ロータリーに入会すると大きなメリットがあると思うのですが如何でしょうか。今思うと、物事の善し悪しの判断は外から見た自分の浅知恵で分かるものではなく、体験し月日を経てより深く理解出来るものです。「習ひつつ見てこそ習へ習はずに善し悪しいふは愚かなりけれ」という利休百首にあるとおりでと思います。

## □ロータリーの成り立ち

はじめから奉仕奉仕といわれると、これはえらいことで、毎日仕事で忙しく疲れているのに、さらに奉仕をさせられるのはやりきれないと思いました。しかし、それは誤解でありました。奉仕とは形だけでなくその精神にあるので、そこをしっかりとつかめば的はずさない。その精神をつかむには、まず創立者の足取りをたどり、ロータリーの発展の歴史を知ることが大事だと思います。1905年2月23日、シカゴの38歳の弁護士ポール・ハリスは3人の職業の違う友人と話し合う機会を得ました。折りから経済恐慌で人心は荒れすさんで弁護士への相談相手は私利私欲で嘘をつく人ばかりで、それを淋しく思っていたポール・ハリスにとってはとても楽しい集いでした。そこで一業種一人という仲間を作ればきっと楽しいクラブが出来たろうと気がついたのがロータリー成立の発端だと教えられております。それぞれ職業が違うので競争心もなくお互いに平等な立場で気軽なおつき合いが出来るために友情の和はどんどん広がりました。決まった会館を持たずに会場を回って歩くので「ロータリー」(回転する、輪番の意味)と名づけられ引っ越しを表現する「馬車の車輪」がマークになりました。この多彩な職業人が公平平等におつき合いしてまず親睦、やがて友情を暖めあううちに困った時には相談しあう、お互いの事業を助け合う間柄となり、馬車の車輪のマークは相互扶助を表すギアのマークに変わりました。しかし、当時アメリカは不況のどん底にあり、特にシカゴは人気も悪く、盗賊がはびこる住みにくい世情となり、会員の暮らしも楽でなく倒産しそうな人も出てきました。そこで「何とか確実に事業を繁栄させる方法はない

か皆で考えて一致したのが「相手の身になって商売をすること」つまり、「職業道徳の高揚」でありました。これは誰も知っていることでありますが、実行しにくいことであります。それをお互いを信頼し敢えて勇気を持って実践に踏み切ったことでロータリーは息を吹き返しますます発展しました。この「職業奉仕」の実践が大きく成果を挙げて自信につながりました。商売の発展だけでなく、よりよい社会を作るためにも必要なことが分かりました。そこでロータリーのマークが又変わります。ギアのマークがまた変わります。ギアのマークに「鍵穴」を開けました。そこに心棒をはめて回転させると力が外へ伝達されます。つまり、ロータリークラブは単なる親睦団体だけでなく、職業を通して社会に奉仕する団体となったのです。そして世界中に仲間が広がった為に必然的に世界の平和の為に寄与する「国際奉仕」にまで発展したのです。偉そうに言いましたが、これは皆、先輩の志波会員に教えられたことです。

### □絵空言でない『奉仕の理想』

こうしてロータリーの歴史を振りかえってみると、はじめに「親睦」から「友愛」、それから職業上の相互扶助から世の為に役立つ『奉仕』の概念が生まれ「職業奉仕」「社会奉仕」さらに「国際奉仕」と実践を通して成長してきました

それを貫く理想が「奉仕の理想」と呼ばれているものです。ここで大切なことは、最初から教議や理論があつて生まれたものではなくて、学者でも思想家でもない実業人達がお互いに助け合い学び合つてひたすら実践を通して実現してきた「絵空事」でない『奉仕の理想』であることを肚に納めておくことが大事ではないでしょうか。ロータリーとは『実践の哲学』であり、『最も奉仕した人が最も報いられる』という箴言は実践の中から生まれたものです。

### □親睦から奉仕へ

前原勝樹氏（桐生RCパストガバナー）は以上のような歴史を踏まえて「ロータリーの本質は『親睦の中から奉仕の理想を生み出す集団である。』と述べています。だから新入会員はまず親睦委員会に所属して、例会時には少し早めに受付に居れば先

輩の方から「やあ、こんにちわ」と明るい挨拶をしてもらうことになって、自然と早くみんなの顔を覚えて親睦も深まることとなります。また、以上の歴史を見れば、クラブの組織に4大奉仕部門があり、それが「クラブ奉仕」「職業奉仕」「社会奉仕」「国際奉仕」であることも、よく理解できるようになりました。このクラブ奉仕の中に、まず「出席」と「親睦」があります。入会時に「出席」と「会費の納入」が会員の二つの大きな義務である事をとくと説明を受けました。出席なくしては親睦も奉仕もあつたものではない。ロータリーはまず出席し、先輩に揉まれ、その感化を受けて経験を積んで一人前になるものだと当時の先輩からはきびしく言われました。今から46年も前のお話です。もうひとつ大事なことを教えられました。それはロータリーは会員が奉仕を学ぶ機会を与えられるところで、クラブの奉仕が目的ではないということです。クラブで何かの寄付を行うのは実践のサンプルであつて、本当の実践は会員個人が行うのであります。役員がどんなに有能であろうと適性であろうと一年で交代するのは、お互いに「奉仕」を学ぶ役どころが公平に与えられる為であり、仕事の合理性や能率を追求する所ではないのです。私たちは「喜んで奉仕する」「奉仕をすることの楽しさ」さらに「奉仕する勇気」を此所で学び、それを個人として「家庭」で、職業人として自らの職場で実行するのです。「入りて学び、出でて奉仕を」と教えられました。

### □私の体験

ここで私の入会時の体験のお話をいたします。最初の親睦委員会では何をしたか記憶がありません。ただ皆さんが暖かく包んでくれた雰囲気だけは残っています。入会してまもなく、当時の大佐和クラブの10周年記念式典が行われました。その時に「物故者追悼」の役割が与えられました。故松本会員が、君の声は追悼に向いているというのです。ロータリーにNOはない等と言われたので素直にハイといつてお引き受けしました。ところが松本会員から与えられた文章は古色蒼然、難解な修辞文です。一生懸命読む練習をして何とかやりとげました。そ

れを克服して、この式典を皆で乗り越えて、ロータリアンの仲間入りをしたように思いました。

### □今、私が思うこと「ロータリーは人生」

今、私は週に一度、クラブの会合に出席することを大変楽しみにしています。前回に卓話で遠藤周作の小説『深い河』を通して、作者が「生活」と「人生」の違いに触れており、彼の言葉を借りれば「ロータリーとは人生である」ということを述べました。今、少し、お時間を頂いて、その話を続けたいと思います。定年間近なサラリーマンの磯辺は妻を癌で失います。彼はかけがいのない妻を失ってみて、人間にとって、かけがいのない結びつきが何であったかを知ります。ここでは磯辺、すなわち作者、遠藤自身の思いが語られます。

この世は集団が出来ると対立が生じ、争いが作られ、相手を貶める為の謀略が生まれる。戦争と戦後の日本の中で生きてきた磯辺はそういう人間や集団をいやというほど見た。正義という言葉も聞きあきるほど耳にした。そしていつか心の底で、何も信じられぬという漠然とした気分が残った。だから会社の中で、彼は愛想よく誰とも付き合ったが、その一人をも心の底から信じていなかった。それぞれの底にはそれぞれのエゴイズムがあり、そのエゴイズムを糊塗するために、善意だの正しい方向だのと主張していることを実生活を通して承知していた。彼自身もそれを認めた上で波風の立たぬ人生を送ってきたのだ。一人ぼっちになった今、磯辺は生活と人生が根本的に違うことがやっとわかってきた。そして自分には生活の為に交わった他人は多かったが、人生の中で本当にふれあった人間はたった二人、母親と妻しかいなかったことをそこで私は認めざるを得なかった。そこで、私は、ここでもう一度、「生活」と「人生」のちがいを述べて、「ロータリーは人生である」といいたいのです。

### □「生活」と「人生」

ここで批評家であり随筆家でもある若松英輔氏は次のようなことを述べています。「遠藤は『生活』と『人生』という表現によって、私たちの生における異

なる次元を表現しようとしています」以下、若松氏の考えをまとめてみました。現代人は生活の次元では豊になっているが、人生の次元では貧しいのではないかという問いかけです。生活の次元では秀でることがよいことです。子供の頃から受験戦争がはじまります。職場でも優劣を競う、昇進やら上下関係がものをいう。経済格差や地位・名誉等、世間の多くは今、生活の次元でものを見て評価しています。人生の次元からみれば、一人一人別の道を歩いても競争もなければ勝敗はありません。裸一貫平等に生まれ平等に死ぬのです。自分の力だけではありません。「生かされて、生きている不完全な存在」であることを互いに認め合い、励まし合い、暖めあう存在です。『深い河』の主人公の一人である磯辺は妻をうしななって一人ぼっちとなりましたが、ガンジス河を前にして大いなる命に抱き取られて心の中に妻が再生します。これは宗教的な話になりますが、私はロータリアンにとっては、日々の例会が、お互いの出会いの雰囲気、ガンジス河ではないかと思いました。みんなですます例会を楽しみましょう。

### □真実と事実

ロータリーの「四つのテスト」はまず「真実かどうか」で始まります。「生活の次元」では「事実」が大切です。セールスマンは何をどれだけ売ったかという実績、事実がものを言います。大学の研究では、どれだけの研究成果を挙げたか、いくつ論文を書いて発表したかが教授昇進の大きな実績になります。「人生の次元」では「事実」より「真実」が大事なのです。では、事実と真実はどう違うのでしょうか。ここで正岡子規と妹律の話为例に挙げます。ある時、子規の母親が律に看病を頼んで久しぶりに気晴らしに花見に出かけました。それを子規が俳句に詠みます。

「たらちねの花見の留守や時計みる」すると律が言います。「お兄ちゃんは時計なんか持っていないじゃない。いつも俳句は写生だ。真実を写すのだと言っているくせに、嘘の俳句を作ったの」「馬鹿だなあ、おまえは。事実と真実は違うのだよ。時計を見ていないのは事実だけれども、お母さんの帰りは

まだかなあと思う気持ちが真実なんだ。」と兄は妹に説明します。皆さん、如何ですか。大岡裁きでもよく出てきます。二人の母親がどちらも自分の子供だと訴え出た時、両方から子供の手を引っ張って勝った方が正しいと言いましたが、子供が痛いと言いたのでつい手を離れた方を実母と認定しました。ある外国映画を観たら、「I love you」と言ったのに字幕では「つらいわ」とでました。英語の試験では点を貰えないかもしれないが、映画の観客はこれでウルウルとなるのです。ロータリーは事実を問うておりません。真実とは真に公平でありみんなの為にもなるものです。お互いに好意と友情を深めるか、皆さんロータリーを楽しみましょう。そして人生を楽しみましょう。そして楽しみながら奉仕を学びましょう。ご清聴ありがとうございました。(令和4年9月6日脱稿)

むすび

ロータリーは人生、真実とは公平、皆の為になるもの。皆でロータリーを楽しもう。楽しみながら奉仕が身につく。よき報いあり。

## 委員会報告

渡辺哲夫 富津中央 RC ゴルフ部長



第15回富津中央RCゴルフコンペの案内

日時:令和4年9月22日(木)

場所:ジャパンPGA 参加費:1,000円

集合:7時 スタート:7時32分 アウト・イン

アウト1組 榎本・佐々木・高橋・伊藤

2組 林・岡元・金子・飯島

イン 1組 星野・多田・坂部・栗原

2組 渡辺・若鍋・須藤・鎌田

JGA及びローカルルールに従う、70歳以上はシニアティ、女性はレディースティ、18

ホールストロークプレイ、新ペリア方式ダブルパー迄、HD36を上限とする、スルーザグリーン6インチプレス、グリーン上はワンダリップOK、プレー終了後、表彰式を行います。

## ニコニコBOX

栗原典子 親睦担当部員



相川恵美子 三枝会員の卓話を聞かせて頂いて

榎本守男

〃

渡辺哲夫 草津温泉に行ってきました。

神子勝美 労働衛生週間準備月間

三枝会員卓話、勉強になりました。

三枝一雄 卓話をさせて頂きました。

**卓話する 原稿を練る 夜長かな**

**かずを**

\* > 1,000円

合計 8,000円

## 出席報告

久保顕彦 出席担当部員



区分	会員数	出席	欠席	MUp	出席率
今回	23/30	23	6	2	79.31%
前回	24/30	24	6		80.00%
前々回	21/30	13	10		76.67%